田村明美議員
（日本共産党）

国保税の引き上げは必要なのか

問　8年4月から、国保税、1世帯平均約2万円を引き上げるという議案が提出された。国保被保険者数減少と所得減少に伴う、保険税収入の減少で、国保会計が厳しくなったというが、保険医療給付費は増えていない。増税しない場合の国保財政調整基金残高は、7年度末約2億5、247万円、8年度末約7、647万円が見込まれ、赤字決算とはならない。物価高騰が続き、家計が厳しくなっている今、増税を行うべきではない、いかがか。

答　「市長」これまで国保加入者の負担軽減目的で、資産割の廃止、税率の据え置きをしてきたが、令和9年度以降の国保の予算編成の困難が見込まれ、引き上げることとした。

問　所得割だけでなく、平等割、均等割まで大きく引き上げる理由は何か。

答　「市民課長」所得割のみを引き上げるといった、区分ごとの税率引き上げは、国保加入者間の公平性が担保できず、適切ではないと考える。県が示す標準保険料率を参考とした。

問　税率引き上げで、家族4人、年収500万円の世帯は、8万5、800円増の年額約52万円になる。納めきれるのか懸念する。滞納の翌年度、被保険者資格はどうなるのか。

答　「市民課長」納税相談で納付意思が確認できた方、被災した方、高校生がいる世帯を除き、医療機関の窓口10割負担となる。納税、償還手続きにより、7割が戻る。

今泉浜津波避難タワーの劣化責任は

問　30年もつといわれ建設した津波避難タワーが、8年で劣化、使用中止となった責任はどこにあるのか、と市民の方から聞かれた。説明を求める。

答　「市長」東日本大震災の津波で浸水被害を受けた今泉浜地区に、国の復興交付金を受けて、津波一時避難施設としてタワーを設置した。平成25年度に一般競争入札により選定された設計業者から、溶融亜鉛メッキよりも防さび能力があり、塩害に強いステンレスペイント塗装をすすめられ、採用した。同設計業者が工事監督を行い、一般競争入札により選定された業者が建設し、ステンレスペイント塗装を行い、27年7月に完成した。以降、市職員が年2回点検し、業者による点検、さび止め塗装を年1回実施してきたが、さびにより腐食したため、令和5年度に劣化度調査を行い、手すり部分の一部欠損、脱落が危険な状態と判明し、6年4月に使用中止とした。国交付金の処理、市の財政状況を考え、今後の方針は適切な時期に判断したい。

近藤魁人議員
（匝る風）

産業用地整備推進事業について

問　税収確保にとっても非常に重要な取組である。県の補助金を有効活用し、事業化検討パートナーと連携することで、事業がさらに前に進んでいくことを期待しているが、どのような課題を想定しているか。

答　「商工観光課長」現在の匝瑳IC周辺の事業化想定区域は、都市計画法や農振法といった個別規制法や土地改良事業や埋蔵文化財等の調整が必要な区域であり、こうした調整に時間がかかることや、企業誘致が課題であると認識している。引き続きまちづくり協議会、事業化検討パートナー、関係者の意見をしっかりと聞きながら、丁寧に事業を進めてまいりたい。

問　立地企業が確保ができなければ、事業が前に進まないと伺っている。これまで一般質問において、立地企業に対する優遇措置の拡充についても尋ねてきたが、立地企業を確保していくために、市として現在講じている施策と、今後の方針について、どのように考えているのか伺う。

答　「商工観光課長」議員お見込みのとおり、産業用地の整備に当たっては、立地企業の確保が大変重要であると認識している。市では、立地企業に対する優遇措置として、企業誘致条例に基づく固定資産税の減免や、雇用奨励補助金の交付等に取り組んでいるところだが、企業誘致のさらなる推進のため、本条例の改正等について検討してまいりたいと考えている。

過疎対策について

問　財政状況が厳しい中で、新しい事業の実施が難しい状況もあるかとは思う。ただ、私自身、野栄出身の先輩と日々議論する中で、それでも地域を何とかしよう、より良くしていこうという現地の方々のアイデアや思いがあることを強く感じている。そうした声を最初から切り捨ててしまうのは、非常に寂しいことだとも思っている。

例えば、旧千潮スポーツ少年団の出身の方から、使われなくなった球場を何とか活用できないかといったアイデアが、私のもとにも寄せられているところである。もちろん、すぐに事業化できるかどうかは別として、こうした現場から出てくるアイデアについては、実施の可否はあるにせよ、まずは検討の対象として向き合っていただきたいと思う。企画課としての姿勢について伺う。

答　「企画課長」今、議員が言われた内容については、将来的には観光振興やスポーツ振興に資するものと推察する。まずは、企画課としては、具体的な内容について話を伺いたいと考えている。

ＱＲコードを読み取ると質問した議員の録画映像が視聴できます。